

令和6年度 自己評価・学校関係者評価公表シート

作成 都島中野幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく元気に 心身共に健やか で何事にも意欲をもって挑戦することができる子ども」
「自分で感じ考え 行動できる子ども」 を教育の目標とし、日々の保育に取り組む。

○子どもたちが、五感を通して感じ・考えることを大切に、“幅広い体験”を重視し、調和の取れた豊かな教育を目指している。

○子どもたちの健やかな心身の成長を願い、食育に力を入れ、安心安全な食材の提供、食育指導などに取り組んでいる。

2. 令和6年度、重点的に取り組んだ目標・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
安全管理	目標 - 園内の安全点検の実施と危険個所の補修を定期的に行う。 - 園庭での怪我を防ぐための安全対策工事。 - プール遊びの時の外部からの目隠し設置。 - 毎月の防災、防犯、避難訓練の内容を充実する。 - 交通安全の訓練と様々な危険を防ぐためにわかりやすい指導を行う 取り組み状況 - 月毎に火災・地震・津波などの災害や不審者対応などの避難訓練を実施した。 - 年3回保護者と一緒に園児の引き渡し訓練を実施した。 - 実際の道路を歩く練習も含めた交通安全指導を行った。 - 安全対策のために下記の工事を行った。 ① 消防法にあわせて、3階までの外階段に設置していたビニールカーテンを撤去し、雨除けのためのパネルやひさしと転落坊用のネットを取り付けた。 ② 防犯対策のための工事を実施した。 - 園庭の外部からのめかくしパネルをつけた。 - 子どもたちのプール遊び時に、外部から見えない様にウッドデッキ全面にビニールカーテンを取り付けた。 評価 - 大きな怪我や事故がなく、一年間安全に過ごすことができた。 - 避難訓練は今後も各項目ごとに園児がわかりやすく内容を工夫して継続していく。次年度も安全に必要な指導を実施する。
教育内容の充実	目標 - 保育内容をさらに充実、多くの体験活動を実施する。 - 専門講師指導も含みながら、絵画・造形指導の充実、収穫体験、クッキング植物栽培、科学遊び・木工制作、イラストワークショップなど、機会を通して、自分で考え、個性にあわせた表現す力を身につける。 - 音楽会・マジック・人形劇鑑賞会等、芸術鑑賞の機会をもつ。 - 体幹を鍛える指導を引き続き実施する。 - 科学体験や実験、ワークブック等の指導を通して、個々の興味やそれぞれの持つ力を引き出し、伸ばしていく。 取り組み状況 - 具体的な目標をきめ、毎日繰り返し確認しながら基本的生活習慣を身につけるよう指導を行い、大切な事を考えなおすことができた。 - 幅広い体験の機会をもつことができる様に季節や行事にあわせてイベントを計画し、思い出をつくり、楽しく過ごすことができた。

	評価 ・たくさんの行事を実施し、楽しく経験の機会を増やすことができた。 ・宿泊保育など思い出づくりの行事や園外保育や季節の集いなど楽しく過ごすことができた。 次年度からは、時代にあわせて変化していく子どもたちの特性、また温暖化の気候変動にもあわせて体験活動を見直ししていかなければならない。 ・反省点をもとに次年度からもさらに充実した活動ができるように、保育内容と指導方法を話し合っあって工夫していく。
子育て支援	目標 ・新システムのアプリ導入を行い、保護者の利便性を高め、保育内容を保護者にわかりやすく発信して園と家庭が一体となって子どもたちの成長を助けていくよう努力する。 ・未就園児親子登園内容の向上と未就園児保護者対応の育児支援を行う。 参加しやすい方法や回数、あわせて園庭開放を開始し幅広いよびかけをする。 ・月1回のキンダーカウンセラーの機会を広く周知し支援体制を整える。 取り組み状況と評価 ・連絡用のパピーナアプリを導入し、家庭との連絡が便利にできる様になった。 ・預かり保育の必要な手続きの煩雑さの解消をはかった。 ・未就園児親子登園を通して、保護者の不安な事や子どもたちの問題をキンダーカウンセリング相談につなげることができた。 ・教員は必要な研修に積極的に参加して、支援できる体制づくりをした。

3. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

- ・教職員が協議を重ねて保育や行事にとりくむことができた
- ・気候変動により自然災害や思わぬ病気にかかる子どもが増え、また犯罪、事件が多い中、子どもたちが自分で自分の身を守ることができる力をつける必要を感じた。
- ・園外保育の行先や内容について以前の通りそのままおこなわないで、一つひとつ検討していく必要性を感じた。気温や自然災害、今の子どもたちが求めているものについても考え直していく。運動会の時期や雪遊びの有無や内容を検討しなければならない。

4. 次年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	園内の安全点検の実施、危険個所の補修を引き続き定期的に行う。 ・毎月の防災、防犯、避難訓練の内容を充実する。 交通安全の訓練と様々な危険を防ぐためにわかりやすい指導を行う。
子育て支援	・預かり保育の利用しやすい方法と内容を工夫する。 ・少子化にあわせた未就園児親子登園と園庭開放の内容を考え、未就園児の保護者に対しての育児支援を行う。 ・食育指導、講演会を実施し、保護者通しの交流の機会の場を増やす。 ・キンダーカウンセラーの利用を広くよびかけ、支援体制を整える。
教育内容の充実	保育内容をさらに充実、一人ひとりの興味や個性にあわせて多くの体験活動を実施する。 ・絵画、造形指導、木工制作、イラストワークショップを通して個々に合わせた表現する力を身につける。 ・年長組は年間を通して科学遊びを行い考える力をつける。 ・植物栽培、収穫体験、収穫物のクッキングなど自然を感じる

	機会をつくる。 • 音楽会・マジック・人形劇鑑賞会など芸術鑑賞の機会をとる。 • お茶やお花の指導、伝統文化を体験する。 • 体育指導講師や内容の見直し、子どもたちが身体を動かす楽しさを感じ、技術を身につけ体幹を鍛える。
--	---

5. 学校関係者の評価

- 子どもたちが楽しく過ごせていることを評価します。
- 行事等を工夫して子どもたちの成長を考えた保育内容を実施できています。
- 危険な事件が多く発生し、子どもたちの安全確保が難しい昨今、これまで以上の対策が必要である。不審者の侵入を防ぐ対策を強化するために、防犯カメラの管理と、通用門の出入りの管理を徹底する方法を:今一度見直し検討するべきではないか。

6. 財務状況

公認会計士監査により、「適正に運営されている」と認められている。